



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月12日

上場会社名 株式会社まんだらけ 上場取引所 東
 コード番号 2652 URL http://mandarake.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 益蔵
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)川代 浩志 TEL 03(3228)0007
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	5,988	5.1	522	73.7	443	109.3	259	121.1
21年9月期第3四半期	5,698	—	300	—	212	—	117	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	235	12	—	—
21年9月期第3四半期	106	35	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	8,812		3,031		34.4	2,745	05	
21年9月期	8,494		2,777		32.7	2,514	97	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 3,031百万円 21年9月期 2,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	0 00	—	5 00	5 00	00
22年9月期	—	0 00	—			
22年9月期(予想)				5 00	5 00	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,027	4.2	570	56.8	397	63.4	234	75.1	211	95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	1,206,000株	21年9月期	1,206,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

22年9月期3Q	101,700株	21年9月期	101,700株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年9月期3Q	1,104,300株	21年9月期3Q	1,104,300株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間のわが国経済は、アジアを中心とした海外経済の改善や一連の景気対策の効果によって回復基調の兆しは見られたものの、欧州をはじめとする金融市場の混乱が続き、雇用や所得環境の先行き不透明感から個人消費は依然として伸び悩むなど、厳しい状況で推移しました。

当社が属するまんが、アニメ関連業界及び古物取扱業界は、消費者の節約意識や低価格志向によって、景気低迷の影響を大きく受けることなく推移しております。さらにインターネットを介した中古品売上の浸透、拡大もあって業界全体の規模は拡大基調で推移しておりますが、新規参入意欲の向上もまた顕著であり、企業間の競争は激化の一途をたどっております。

このような経済環境におきまして、当社はこれまでの方針を継続し、全事業での積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期会計期間の売上高は2,020百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は232百万円（前年同四半期比53.0%増）、経常利益は211百万円（前年同四半期比57.7%増）、四半期純利益は130百万円（前年同四半期比71.3%増）となりました。

品目別では、本物志向に対応した精密で高機能な商品が続々と発売され、子どもから大人まで年齢を問わずに市場が拡大を続けている「TOYS」の売上高が545百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。また深夜番組から始まり、映画化から映像ソフト販売、実写化やスピンオフ作品の展開があるなど、依然として日本のアニメーションは高い人気を誇っており、これに関わるDVD、ゲーム等を擁した「その他」の売上高は555百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。さらにまんが家を主人公としたTVドラマの影響から、新旧を問わずにそのまんが家の作品が注目を集めるなど新たな需要が喚起されている「本」の売上高は423百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。加えてメディアを問わず新たな商材が生み出されることによってファンは増加を続け、市場規模は拡大を持続する「同人誌」は491百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

なお、平成22年9月期第1四半期及び第2四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成22年9月期第1四半期決算短信（平成22年2月12日開示）並びに平成22年9月期第2四半期決算短信（平成22年5月13日開示）をご参照ください。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産は、8,812百万円となりました。これは、主に現金及び預金とたな卸資産の増加によるものであります。

負債につきましては、5,780百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加が、短期及び長期借入金の返済を上回ることによるものであります。

純資産につきましては、四半期利益の計上により、3,031百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前会計期間末に比べ281百万円増加し、当第3四半期末には453百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、246百万円となりました。これは主に税引前当期純利益443百万円、減価償却費124百万円に対し、たな卸資産の増加が120百万円、その他の流動負債の減少が46百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、18百万円となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が40百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、17百万円となりました。これは主に、長期借入による収入700百万円が、短期及び長期借入の返済による支出を、上回ることによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期も、わが国が誇る文化としてのまんが、アニメーションを世界に向けて広く紹介する営業活動を展開してまいります。さらにまんが、アニメーション関連に限らず、あらゆるサブカルチャーに目を向け、その価値を追求して新たな市場の開拓と定着に取り組んでまいります。

なお、当社の平成22年9月期の通期業績予想につきましては、平成22年8月12日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・ 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、当第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎とした合理的な方法で算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

前第3四半期累計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「業務受託手数料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお前第3四半期累計期間における「業務受託手数料」の金額は2,823千円であります。

前第3四半期会計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「業務受託手数料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお前第3四半期会計期間における「業務受託手数料」の金額は602千円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454,858	171,993
受取手形及び売掛金	155,424	127,469
商品及び製品	3,814,408	3,695,519
仕掛品	2,124	120
原材料及び貯蔵品	21,596	21,666
繰延税金資産	170,568	165,910
その他	82,807	71,921
貸倒引当金	—	△1,072
流動資産合計	4,701,788	4,253,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,496,571	2,482,758
減価償却累計額	△1,116,148	△1,020,378
建物及び構築物 (純額)	1,380,423	1,462,380
土地	2,175,269	2,175,269
その他	571,392	561,555
減価償却累計額	△503,799	△486,068
その他 (純額)	67,592	75,486
有形固定資産合計	3,623,285	3,713,137
無形固定資産	43,952	52,911
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349	41,879
差入保証金	320,571	318,881
繰延税金資産	87,322	78,763
その他	51,323	63,024
貸倒引当金	△17,500	△27,714
投資その他の資産合計	443,068	474,835
固定資産合計	4,110,306	4,240,883
資産合計	8,812,094	8,494,413

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,274	44,579
短期借入金	2,451,672	2,711,667
1年内返済予定の長期借入金	241,932	392,672
1年内償還予定の社債	96,000	198,500
未払法人税等	143,284	32,758
賞与引当金	8,834	44,199
その他	248,403	298,648
流動負債合計	3,215,400	3,723,024
固定負債		
社債	1,081,500	1,032,000
長期借入金	1,287,874	800,028
退職給付引当金	185,019	156,481
その他	10,937	5,600
固定負債合計	2,565,331	1,994,110
負債合計	5,780,732	5,717,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金	1,117,380	1,117,380
利益剰余金	1,209,056	954,925
自己株式	△132,712	△132,712
株主資本合計	3,031,164	2,777,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198	245
評価・換算差額等合計	198	245
純資産合計	3,031,362	2,777,279
負債純資産合計	8,812,094	8,494,413

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,698,967	5,988,720
売上原価	2,935,640	3,039,379
売上総利益	2,763,327	2,949,341
販売費及び一般管理費	2,462,703	2,427,128
営業利益	300,623	522,212
営業外収益		
受取利息	368	69
受取配当金	15	17
業務受託手数料	—	13,204
債務勘定整理益	—	8,085
その他	28,233	17,725
営業外収益合計	28,617	39,101
営業外費用		
支払利息	75,956	61,314
社債利息	17,807	16,611
その他	23,374	39,488
営業外費用合計	117,138	117,415
経常利益	212,102	443,899
特別利益		
貸倒引当金戻入額	225	225
特別利益合計	225	225
特別損失		
有形固定資産除却損	683	—
その他	—	300
特別損失合計	683	300
税引前四半期純利益	211,643	443,824
法人税、住民税及び事業税	103,090	197,357
法人税等調整額	△8,890	△13,184
法人税等合計	94,199	184,172
四半期純利益	117,443	259,651

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,939,509	2,020,957
売上原価	960,996	984,338
売上総利益	978,513	1,036,618
返品調整引当金繰入額	—	△2,379
差引売上総利益	978,513	1,038,997
販売費及び一般管理費	826,222	806,028
営業利益	152,291	232,969
営業外収益		
受取利息	32	5
受取配当金	15	17
業務受託手数料	—	3,491
その他	14,358	5,349
営業外収益合計	14,406	8,863
営業外費用		
支払利息	24,755	20,157
社債利息	5,769	5,384
その他	1,910	4,558
営業外費用合計	32,435	30,100
経常利益	134,261	211,732
特別利益		
貸倒引当金戻入額	50	50
特別利益合計	50	50
税引前四半期純利益	134,311	211,782
法人税、住民税及び事業税	49,512	71,216
法人税等調整額	8,628	10,105
法人税等合計	58,141	81,322
四半期純利益	76,170	130,460

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	211,643	443,824
減価償却費	141,473	124,945
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△225	△11,286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,919	△35,364
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,970	28,538
受取利息及び受取配当金	△483	△96
支払利息	93,764	77,926
為替差損益 (△は益)	330	510
有形固定資産除売却損益 (△は益)	683	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,712	△27,955
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△241,559	△120,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,388	△19,304
その他	285,268	△73,283
小計	470,624	387,631
利息及び配当金の受取額	384	87
利息の支払額	△77,030	△60,855
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△199,356	△80,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,621	246,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,500
定期預金の払戻による収入	12,500	—
有形固定資産の取得による支出	△5,556	△15,463
無形固定資産の取得による支出	△50,000	△3,500
投資有価証券の売却による収入	—	40,459
その他	4,716	△1,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,340	18,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,490,000	1,130,000
短期借入金の返済による支出	△1,080,000	△1,389,995
長期借入れによる収入	100,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△506,095	△362,894
社債の発行による収入	—	100,000
社債の償還による支出	△53,000	△153,000
リース債務の返済による支出	—	△1,550
配当金の支払額	△7,362	△5,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,457	17,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△330	△510
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	99,493	281,365
現金及び現金同等物の期首残高	212,001	171,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	311,495	453,358

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。